

会 議 録

(6 - 1)

会議の名称		令和7年度 第1回春日部市こども・子育て支援審議会			
開催日時		令和7年7月29日(火)	開 会	午後 2 時 13 分	
			閉 会	午後 3 時 50 分	
開催場所		春日部市役所本庁舎3階 301会議室			
議長(会長等)氏名		会長 石塚 勝美			
出席者	委員氏名	(出席人数：12人)			
		石塚 勝美、江村 恵里子、山田 農久、中島 邦彦			
		上田 みどり、鈴木 京子、太田 勝基			
		シュレスタ アビシエク、シャキヤ ソスティカ			
	説明者 その他	田中 あんず、高取 佳代子、大島 康裕			
		こども育成課こども育成担当主幹 神風 武志			
		こども育成課こども育成担当主査 野口 剛史			
	事務局	こども育成課こども育成担当主査 星野 千絵			
		(出席人数：10人)			
		こども未来部長 森田 温美			
		こども未来部次長兼こども育成課長 富賀 健一			
		こども相談課長 青木 理恵子			
		こども支援課長 手崎 貴代公			
		保育課長 長崎 能徳			
		障がい者支援課長 染谷 学			
		こども育成課こども育成担当主幹 神風 武志			
		こども育成課こども育成担当主査 野口 剛史			
		こども育成課こども育成担当主査 星野 千絵			
		こども育成課こども育成担当主事 渡邊 優花			
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1. 開 会			
		2. 議事報告			
		(1) 第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画及びかすかべっ子 幸せ応援プラン(春日部市子どもの貧困対策推進計画)の進捗管理 について			
		(2) 春日部市こども・若者計画について			
		3. 閉 会			

一部公開・非公開の 場合はその理由	☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：
配 布 資 料	<資料> 次第 ・資料1－1 第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画年次報告書（令和6年度） ・資料1－2 かすかべっ子 幸せ応援プラン（春日部市子どもの貧困対策推進計画）年次報告書（令和6年度） ・資料1－3 かすかべっ子 幸せ応援プラン（春日部市子どもの貧困対策推進計画）年次計画書（令和7年度） ・資料2 春日部市こども・若者計画について
会議録の作成方法	☐ 録音テープ等 を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録
会議録署名の指定	会議録の署名は、会長が行うものとする。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	1. 開会 傍聴人（1名）の報告 2. 議事報告 （1）第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画及びかすかべっ子 幸せ応援プラン（春日部市子どもの貧困対策推進計画）の進捗管理について ＜資料1－1 第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画年次報告書（令和6年度） ・資料1－2 かすかべっ子 幸せ応援プラン（春日部市子どもの貧困対策推進計画）年次報告書（令和6年度） ・資料1－3 かすかべっ子 幸せ応援プラン（春日部市子どもの貧困対策推進計画）年次計画書（令和7年度）により説明＞
会 長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。 資料1－1「第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画の進行管理について」の進捗状況に関して、「評価なし」の割合も含めてパーセンテージを算出しているため、評価A・評価Bの割合が低くなっている。目標値がないものが「評価なし」で、やっていないわけではないのであれば、「評価なし」の割合は除いての算出で良いのではないか。
委 員	「評価なし」が高い割合になってるので違和感がある。
事務局	「評価A」「評価B」「評価なし」の3区分の割合を算出しているので、評価Aが低い割合になってしまう。5年の推移を見てきているので、過去と同様に数字を算出した。 参考までに「評価なし」を除く評価A・評価Bのみの割合は、令和2年度（計画初年度） 評価A 65.1％、 評価B 34.9％ 令和6年度（計画最終年度） 評価A 80.6％、 評価B 19.4％ となった。おおむね、計画通りに遂行できた。
委 員	資料1－3 「7ひとり親家庭等養育費確保支援事業」について事業概要に「面会交流」とあるが、こども家庭庁では「親子交流」と表現している。面会交流と記載している理由は何か。
事務局	計画を策定した際、表記した内容を掲載している。意図はない。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	現在は「親子交流」という表現が一般的なので修正してほしい。また、「弁護士による無料法律相談」との記載があるが、親権についても相談してよいか。
事務局	弁護士相談については、親権等の相談をしている。最近増えている。丁寧に対応している。
委 員	相談内容によっては、親子交流の取り決めがされる前に、こどもが親に会えない状況となる場合が出てくるのではないかと。弁護士はその辺を考慮して、相談業務を行っているのか。
事務局	養育費や離婚に係る親権が大きく関わってきている。デリケートな内容となるため、個々に関わる相談というよりは、基本的な制度や概念の説明となる。継続した相談になると、個人で弁護士と契約をして相談となる。
委 員	事業概要に「こどもの福祉と利益を視点として」とある、この視点を持って取り組んでほしい。
会 長	他にありますか。基本目標3「地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり」に関して、意見はありますか。資料1-1 68ページ上段 地域交流会の評価がBとなっている。人数が集まらなかった理由はあるか。
事務局	コロナ禍により参加人数が減少した。そこからの回復期の数字となっているため、目標数字と乖離があると考えます。 また、こどもの数自体の減少も考えられる。
委 員	資料1-1 66ページ下段 三世代交流スポーツフェスティバルは、開催時期が1月と寒いため、参加者が少ないように考える。気候がよい時期が良いと思う。
事務局	事業の主催が「中央公民館」であるため、開催時期の変更の明言は出来ないが、担当部署に情報提供を行う。
委 員	学校の授業の影響というよりは、保護者の都合が大きいのではないかと。
委 員	資料1-1 5ページ下段 子育て支援策の推進（児童育成

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	支援拠点事業)では、相談業務を受ける方は、どのような方が相談業務に携わっているのか。小学生で5年生になると半数がスマホを持っている。小学生の相談も受けてもらいたい。 相談業務に携わってるのは、有資格者(社会福祉士)であり、小学生からの相談も受けている。
委 員	広報に関して、チラシやカードを配布したり周知してもらいたい。
委 員	学校の防犯カメラの設置はどうなっているか。公共施設を含めて、春日部市の取組はどうか。
委 員	学校に関しては、既に設置されている。
委 員	トイレや教室などへの設置はどうなっているか知りたい。昨今、盗撮事件等が他市でおこっている。市・教育委員会・学校が連携して話しあってもらいたい。
(2) 春日部市こども・若者計画について	
事務局	<「資料2 春日部市こども・若者計画について」より説明>
委 員	たけたけに関して、共栄大学生は常駐し勉強を教えてくれるのか。対象年齢ではない子(小学生)がきた場合の対応は。
事務局	大学生がユースワーカーとして勉強も教えることができる。また、楽に勉強する「ラフ勉」のイベントを設けている。基本的には中学生・高校生世代の居場所として開設しているため、小学生は同じ会場に開設している小学生の遊び場を案内している。 ただし、兄弟での来場の場合、小学生の入室も認めた事例もある。
委 員	こどもの居場所づくりに関して、小規模でよいので地域ごとに提供できる場所があると良い。企業の協力を得たり、市民文化会館等にスペースを設けられると良いと考える。
委 員	場所を増やしていく方針はあるか。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	現在、実証実験として行っている。検証をしたうえで進めていきたい。
委 員	保護者から情報提供がない場合、こどもはどこから情報を得ているのか。
事務局	近隣の学校へチラシを配布した。また、ホームページ、インスタを頻繁に更新して口コミで広がっていくことを期待している。
委 員	地域で支える役割としての「大人」の課題として、地域が高齢化して参加が難しい。イベント運営が難しい状況になっている。
委 員	こどもの自己肯定感をあげるような取組が必要では。
委 員	地域におけるこどもの居場所、支援体制の中において「外国籍の方」も対象としても行っているのか。母国語しか話せない方も増えている。そういった家庭への「居場所」が必要ではないか。情報が届きにくい現状があるのではないか。
事務局	居場所に関しては、外国籍の方も受け入れている。また、体験活動等の企画に関しても、外国籍の方に対し様々な体験活動ができる機会の提供を検討している。
委 員	こどもが両親の通訳をしている場合も多い、文化の違いや両親の考えで、行きたい（やりたい）が出来ない場合もあるのではないか。こどもの意思が尊重できるようにしてもらいたい。
委 員	イベントを通じて、外国籍の方との相互理解が出来るような企画を行ってもらいたい。地域の方の協力を得て、地域力を活用してってもらいたい。 ※資料2 「管理指標」を諮る質問については、反対意見なしのため、承認。 3. 閉会
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和7年 8月 6日 署名者の職・氏名 春日部市こども・子育て支援審議会 会 長 石塚 勝美 （原本署名）	

